

平成25年度 杉森中学校 第1回学校運営協議会 会議録

日時 平成 25 年度 4 月 30 日(火)17 時 00 分～19 時 00 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 高崎 彰
大川 洋
安藤 雄太
岡田 円治
由井 宮太郎
大熊 康子
一野 まり
國藤 久司

大橋 亮介(校長)



《教育委員会》
杉並区教育委員会
学校支援課長 青木 則昭
学校支援課 伊藤 彰大
学校支援課 三井 真太郎

《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)
加藤 雄一(進路指導主任)
シュティーベリング 育子(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)

長谷川 祐子(嘱託事務)



校長 25年度が始まりました。CSも本校では、9年目になります。みなさんのお力をいただいておりますが、これからもよろしくお願いいたします。杉森中のために"生きる"委員会にしたいと思っています。今日は第1回目の運営協議会ですので、新しい委員の方を含め、委員の皆さんの任命式があります。教育委員会から学校支援課青木課長に来ていただきました。

青木 青木です。私は杉森中の卒業生です。日頃、行政にご協力有難うございます。杉森中は平成17年に杉森中他、4校が指定されましたが、現在小中23校に地域運営学校(コミュニティー・スクール)が設置されました。小中全体の1/3が運営協議会を運営しているということになります。どうやって支援していくかが課題となってきます。他校から見学したいという声もあります。今後ともよろしくお願いいたします。では、本年度の委嘱状を交付いたします。



校長 会長と職務代理の選任を行いたいと思います。会長は、石田前会長からのご推薦もあり高崎さんをお願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

高崎 職務代理は安藤さんをお願いできますでしょうか。司会をお願いします。

－ 拍手で承認。 －

司会 では、学校からの報告からお願いいたします。

校長 新一年生 132 名 4 学級で、全生徒数は 374 名 11 学級ということでスタートしました。非常に落ち着いたスタートとなりました。朝読書が始まる 8:25 にはみんな席についています。どの学年も生徒の態度がとても良いです。

公式戦が多くなり、うまく勝ち上がっている部もあります。体育祭の朝連も頑張っています。

副校長 4 月 18 日の保護者会には 241 名、土曜日の学校公開日 246 名の保護者がいらっしゃいました。1 年生の参加が多かったです。

部活保護者会には 374 名中、366 名の参加がありました。



教務主任 5 月の行事予定表です。16 日・17 日は中間テストです。1 年生には初めてテストとなります。翌週にはすぐにフレンドシップスクールです。5 月 20 日からは、2 週にわたり体育祭の練習があり特別な時程になります。6 月 1 日が体育祭になります。年間予定については職員会議で話し合いました。小中合同研究会は年に 3 回の開催で、同じ分科会に出てもらうようになりました。授業の改善・計画等を発表していただきます。毎回授業参観もあります。

生活指導 生活面では、それぞれの学年の生徒が意識をもったの生活となっています。事故がないように、入学してすぐに安全についての話をしました。今のところ、1 年生の不登校はいません。アレルギーなど注意点は多岐に渡りますが、きめ細かい指導をして、特に安全・安心な学校にしていきたいと思います。

進学指導

日ごろの授業を大切にし、都立・私立さまざまな学校を紹介していきたいと思います。

段階的なキャリア教育を展開していきたいと思えます。1年生のフレンドシップスクールが、5月21日にありますが、「自分を知り、相手を知り友達関係を作っていく」ということを目標に、思いやりをもてるように指導していきたいと思えます。

2年生は7月8日から5日間の職場体験活動があります。実際に働くことを通して職業観を学んでいきます。

3年生は春休みにの課題「上級学校調べ」をもとに、高校についてまとめて、発表をしているところです。3者面談は3回、進路希望調査は4回行う予定です。12月には具体的な進路を決めて、子どもが主体となるような自己選択ができるように、進めていきたい。

校長

2年生の職場体験は、今回CS委員の由井さん・安藤さんにご協力いただくことになりました。

司会

何かご質問はありますか。

A委員

杉並区の小中一貫教育の方向性について教えてください。

校長

進み具合は地域によって違いますね。事前に連携していけるように心がけています。

中学での勉強を生かしながら、無理なくやっていきたい。和泉・高円寺も小中一貫校としてスタートし始めています。授業交流をしている学校もありますが、本校では部活体験を予定しています。小学校でやるべきことをやって、それを中学校で生かすことが大切だと思っています。

B委員

進路の質問ですが、可否の可能性の把握などはどうされていますか。

進路指導

先輩たちのデータとしては提供できますが、どこの学校があっているというのは、学校ではなく生徒本人が決めるものです。そのためにも、都立学校について情報提供したり、私立高校の色々な試験の形態を調べさせています。土日に学校訪問に行くように指導しています。2年生の段階で情報収集させています。まずは、近隣の高校を訪問しています。

B委員

一人何校位訪問するのですか？

教務主任

まず都立一つ、私立一つを訪問して、それから自分の行きたい学校を訪問する生徒もいます。

校長

私立と都立の違いについては事前学習をしています。都立でも専門化している学校もありますので。可否の情報は、めやすとしてデータを持っています。



司 会 では次に学校の経営計画・経営方針についてお願いします。

校 長 学校経営の基本方針というのは、基本的には大きく変わりません。1 ページ目の一番下を書いてある「生徒の健全な育成を目指し、決して目立つことなく地道な努力を継続していくことをわすれない」ということです。無理をしないで、長く続けていくことを大切にしていきたい。「生きる」ということをキーワードとしていく。「フレンドシップスクールを1年の初期に実施することにより、生徒同士のコミュニケーションを図る。今年度理科と英語に数学の少人数指導が増えたので、より一層の充実を図りたいと思います。

「当たり前のことが当たり前にできる」「思いやりをもてるようになる」という生徒を目指しています。昨年度からの学校保健委員会での健康管理を今年度も推進する。小中合同研修その他の研修を充実させる。「知」「徳」「体」のすぐれた杉森中を目指して生きたいと思っております。

それに加えて学校経営計画の説明に移りたいと思います。今年度の重点目標として「自治力を高める」ということを取り上げたい。自分で判断して、実践できる自治力を高める。すすんで色々なことに取り組んでいてもらいたい。

朝読書の書評(書くこと・発表すること)を週に一度取り入れていく。

先日4年ぶりに文科省の学力調査がありました。研究指定校になったこともあり、学力調査を利用して経年変化を全学年でとっていききたい。

学校支援本部のご協力で放課後の補習教室をやってきましたが、これも継続してやっていきたい。生徒会を中心とした活動を充実させる。今年は小学校に出向いて活動し、地域貢献をさせたい。(洋服のリユース・CO2のデータを取る環境活動等)PTA や支援本部との連携をとりたい。

というのが学校経営計画の概要になります。

司 会 何かご質問はありますか。

C委員 人権教育と道德教育をどのように分けているのか。

校 長 東京都が一番にもってきている目標です。すべての教科に人権に関わることが入るので、それをより一層明確にするために全体計画に取り入れています。

司 会 道德教育と人権教育は分けられるものではないということですね。

C委員 食育もそういうことがいえますね。

校 長 そうですね、食育の全体計画は作成中です。

D委員 道德における人権教育の指導方針はないんですね。

校 長 もうすでに道德に含まれているので、そちらに示しています。

A委員 すべての教科領域ということでこういう書き方になってしまうのですね。これについてはまたいずれテーマを決めて深めていきましょう。